

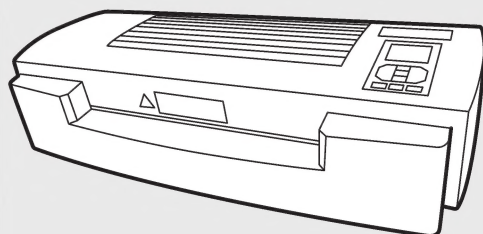
MS_®パウチ

PHJ330

取扱説明書

● もくじ

内容物の確認	1
安全上のご注意	2~4
各部の名称とはたらき	5~6
ご使用方法	7
切り忘れ防止&省エネ機能	
ご使用上の注意	8
お手入れ	
消耗品について	9
こんなときは	
保証規定	10
製品仕様	



■このたびは、**MS_®パウチ** をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
でございます。

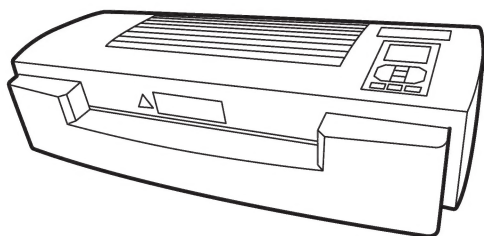
MS_®パウチ は皆様に安心してご使用いただけますよう安全性を第一に設計し、
製作いたしております。なおご使用前には、この取扱説明書をよくお読みいた
だきいつまでもご愛用くださいますようお願い申し上げます。また、この取扱
説明書は大切に保管してください。

内容物の確認

下記のとおり、製品本体および付属品が同梱されていることを確認してください。

- 製品本体..... 1 台
- 取扱説明書（保証書付き）..... 1 部
- クリーニングペーパー..... 1 枚
- 〈MSパウチのご使用上のご注意〉 チラシ 1 枚

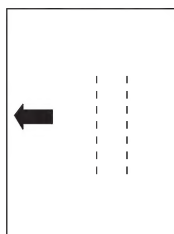
製品本体



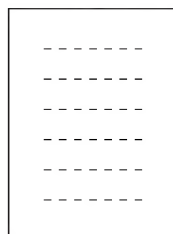
取扱説明書



クリーニングペーパー





〈MSパウチのご使用上のご注意〉
チラシ



安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘ 注意事項を示します。

図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は規制、要請事項を示します。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

1. 乳幼児・お子様はけがをするおそれがありますので近づけないでください。

内部にヒーターがあり、思わぬ事故のおそれがあります。



2. お子様だけで使わせたり幼児の手の届くところでは使わないでください。

やけど・感電・けがをするおそれがあります。



3. 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
またタコ足配線をしないでください。

火災・感電のおそれがあります。



4. この機器を分解しないでください。

内部にはヒーターなどがあり、やけど、けがのおそれがあります。



警告

5. 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、重い物を乗せたり、引っばったりしないでください。

電源コードをいため、火災・感電のおそれがあります。



6. 万一、発熱したり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。

すぐに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。



7. 万一、異物＜金属片、水、液体＞が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。



8. この機器を改造しないでください。

火災・感電のおそれがあります。



9. 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電のおそれがあります。



10. 投入口や排出口に絶対に手や棒などを入れないでください。

内部にヒーター、ローラーがあり、けがの原因となることがあります。



11. 髪の毛、ネクタイ、ネックレス、着衣のそで、ブレスレット、時計のチェーンなどを投入口にたらしめないでください。

引き込まれてけがの原因になることがあります。



注意

1. 本製品の上、及び下に熱に弱いものを置かないでください。

変色、破損のおそれがあります。



2. 本製品の掃除にベンジン、シンナーなどの可燃性溶剤や可燃性スプレーを使用しないでください。

後で電源を入れたときに引火するおそれがあるほか、本体の変色のおそれがあります。



3. ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



4. 冷暖房のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。



5. 直射日光の当たる場所で使用しないでください。

火災・故障の原因となることがあります。



6. この機器を移動させる時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



7. 作業が終了した時は、電源を切ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



8. 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持っておこなってください。

コードの断線による火災の原因となることがあります。



9. 植物、生き物、食べ物、布類、金属、液体などをパウチしないでください。

火災のおそれがあります。

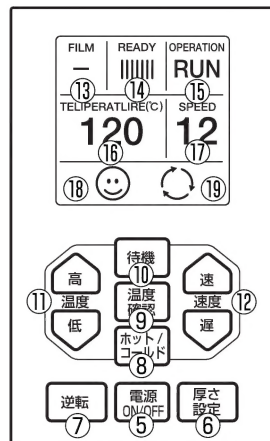
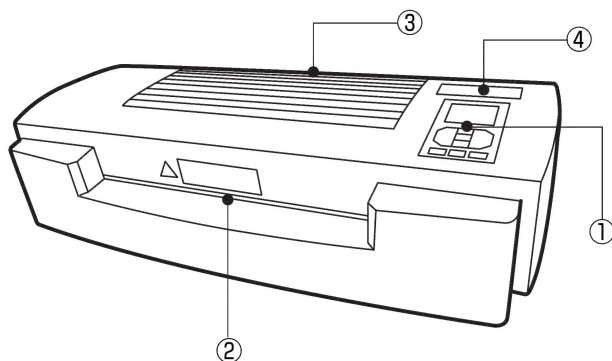


10. 本製品はパウチ以外の用途には使用しないでください。

事故のおそれがあります。



各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき

① 操作・表示部	P.5～6をご覧ください。
② 投入口	フィルムをここから入れます。
③ 排出口	パウチしたフィルムがここから出てきます。
④ 各フィルム厚さ時の推奨設定表	使用するフィルム厚に合わせて、パウチするときの推奨設定値（温度・速度）が表示されています。

操作・表示部

操作・表示部の名称とはたらき

⑤ 電源キー	このキーを押すと電源を投入します。また停止させるときも、このキーを押してください。なお、ローラーの損傷を防ぐ為ファン冷却し、ローラー温度が80℃になるまで正転します。
⑥ 厚さ設定キー	⑬部の数値を変更できます。フィルム厚さが100・150 μm時の推奨仕様に設定変更ができます。 （原稿重量値を64g/m ² とした時） 原稿の参考重量値についてはP.7をご覧ください。
⑦ 逆転キー	このキーを押している間、すべてのローラーが逆転します。フィルムがジャミングしたときなどにご使用ください。
⑧ ホット/コールドキー	パウチとコールドパウチを切替えます。なお、コールドパウチ設定時には、コールドパウチ専用フィルムをご使用ください。
⑨ 温度確認キー	このキーを押すと、⑯部に現在のローラー温度を表示します。1回押すと4秒間表示され、押している間は表示し続けます。設定との温度差を確認する時にご使用ください。

⑩ 待機キー	作業を一時中断するときは、このキーを押して予熱モードにしてください。なお長時間ご使用にならないときは、⑤部キーを押し電源を切ってください。
⑪ 温度変更キー	40～140℃の範囲内で設定温度が変更できます。1クリックで1℃変更ができ、長押し中は高速で変更ができます。
⑫ 速度変更キー	1～12レベルの範囲内でローラー速度が変更できます。1クリックで1レベル変更ができ、長押し中は高速で変更ができます。
⑬ フィルム厚さ表示	⑥部キーにフィルム厚さ設定をおこなったとき、表示が変わります。表示内容は、100・150の2種類となります。
⑭ 待機時間表示	現在のローラー温度が設定温度になるまでの待機時間を表示します。表示は目盛り表示です。1から始まり8目盛り点灯後に準備完了となります。
⑮ 現在の動作表示	表示されている内容で現在の状態がわかります。 RUN：ホットフィルムに設定された状態です。 COLd：コールドフィルムに設定された状態です。 REV：ローラーが逆転しています。 Stby：作業を一時中断しています。 CHKT：現在のローラー温度を確認しています。 OFF：電源を切る準備をしています。
⑯ 温度表示	ローラー設定温度を表示します。
⑰ 速度表示	ローラー設定速度を表示します。
⑱ 投入可能マーク	設定温度に対し、現在のローラー温度が近く、フィルム投入可能な状態のときに点灯します。
⑲ 回転方向表示	正転中は時計回り、⑦部キーを押している逆転中は反時計回りとなります。

ご使用方法

1. 平坦でぐらつかない場所に置いてください。
2. 100Vのコンセントに電源プラグを完全に差込んでください。
3. 電源キーを押してください。
4. 使用するフィルムの種類によって、ホット/コールドキーを押してください。
ホット設定時：温度110℃ 速度6
コールド設定時：温度60℃ 速度2
※コールド設定は40℃～60℃の温度範囲です。
5. ご使用前にフィルム厚さ及び原稿に適切な温度と速度に設定してください。
なお、下表は参考設定値です。

フィルム厚さ	原稿の材質	重量 (g/m ²)	設定温度 (°C)	設定速度
100μm	PPC用紙	64	110	6
	カタログ	120	110	5
	写真	200	110	4
150μm	PPC用紙	64	130	4
	カタログ	120	130	3
	写真	200	130	2

※原稿の重量値は参考値ですので仕上がり状態を確認して温度や速度を設定してください。

6. 待機時間表示の目盛りが点灯になり、投入可能マークが点灯しましたらフィルムを投入してください。点灯前にフィルムを投入すると、仕上がりが悪くなったりフィルムがローラーに巻きつくおそれがあります。
7. 排出口から出たフィルムを取り出します。
連続してパウチをする時は、前にパウチしたフィルムを取り出してから次のフィルムを挿入して下さい。
8. もし、内部でパウチしたものが挟まった時は、ブザーでお知らせし、ローラーが自動で逆転して投入口から排出されます。
9. 作業を一時中断するときは待機キーを押してください。
(節電することができます。)
10. 作業を終了するときは電源キーを押してください。ローラーの温度が80℃まで下がったら自動で電源が切れますので、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。

切り忘れ防止&省エネ機能

長時間（60分以上）使用されない場合には切り忘れ防止&省エネの為、クーリング後に自動停止します。再度使用する場合には電源を入れ直してください。

ご使用上の注意

1. 原稿に合った大きさのフィルムでパウチしてください。
カットしたフィルムの投入は故障の原因となります。
2. 必ずパウチフィルムはシールされた側（接合部）から投入してください。
3. 原稿はシール部分にあたるまで差し込んでください。
4. 片面のみのパウチは行わないで下さい。
5. パウチフィルムを挿入する際は投入口の中央にフィルムをまっすぐ入れて下さい。
6. パウチフィルムを投入口に入れたら速やかに送り込みローラーまで進めて下さい。
投入口中央内部にはセンサーがありフィルム挿入に時間を掛けますと自動的に逆転を行います。
7. 原稿サイズに対してフィルムのサイズが合っていない場合フィルムが詰まりトラブルの原因となります。
8. 原稿をはさまないで、パウチフィルムだけで投入しないでください。
9. 貴重品・複製不可能なものはパウチしないでください。
10. インクジェットプリンターにより印刷された印刷物は十分に乾燥させてからパウチしてください。
11. パウチフィルムと合わせて厚さが1.0mm以上になるものは投入しないでください。
12. 必ずMSパウチフィルムを使用してください。パウチフィルムの特性が合わない
とトラブルの原因となることがあります。
13. パウチ以外の用途に使用しないでください。

お手入れ

ローラーの掃除方法

- パウチ加工が終了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーを投入口より入れてください。
- クリーニングペーパーに糊などの汚れがつかなくなるまでこの作業を数回繰返してください。
- ローラーが汚れていいますと、パウチフィルムが製品本体に巻き込まれる原因となりますので、パウチ加工後は必ずクリーニングを行ってください。
- クリーニングペーパーが無いときは、厚手の紙を代用してください。ただし、印刷や、特殊な処理をした紙は使用しないでください。

製品本体の掃除方法

（電源プラグを抜いてから、お手入れしてください）

- 乾いたやわらかい布でふき取り、製品の汚れを落としてください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよくしぼってふき、そのあと乾いた布でふき取ってください。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類ではふかないでください。



消耗品について

消耗品については下記ホームページでご案内させて頂いております。

<http://www.meikoshokai.co.jp/>

こんなときは

不具合現象

原因・対策

電源が入らない
モーターが回らない

1. 電源プラグをコンセントに差込んでいますか？
⇒電源プラグをコンセントに差込んでください。

2. 操作表示部に表示が点灯されていますか？
⇒電源キーを押してください。

フィルムが詰まる
気泡が発生する

1. 下記の紙を使っていませんか？

- 湿った紙
- 折れた紙
- カールした紙
- 凸凹のある紙

⇒きれいな紙を使用してください。

2. 紙以外の材質を投入していませんか？

- 金属
- ガラス
- プラスチック

⇒紙以外投入しないでください。

フィルム表面に筋状
の汚れが発生する

1. ローラーが汚れていませんか？

⇒ローラーを掃除してください。
(P.8 ローラーの掃除方法参照)

上記の対策を行っても不具合が解決しない場合は修理窓口までご連絡ください。

《修理窓口》明光フィールドサービス株式会社

TEL 03-5994-1611

保証規定

- 保証期間内（お買い上げ日より１年間）に正常な使用状態において故障した場合は、無料修理いたします。
- 次のような場合は保証期間中でも有料修理となります。
 - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、その他、天災地変などによる故障及び損傷。
 - 保証書のご提示の無い場合。
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - MSパウチフィルム以外のフィルム使用による故障。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

◆修理、サービスのご用命のときは保証書をご提示ください。

◆ご使用の際は取扱説明書をよく読んでからお使いください。

製品仕様

商 品 名 ・ 型 式	MSパウチ PHJ330
大 き さ (W×D×H) (mm)	610×295×150
投 入 口 幅 (mm)	330
最 大 パ ウ チ 厚 (mm) (フィルム厚+原稿)	1.0
対 応 フ ィ ル ム 厚 (μm)	100・150
パ ウ チ 速 度 (mm/min)	600~3,000 (50Hz/60Hz)
使 用 口 ー ラ ー 数	6
ウォーミングアップタイム(分)	約7分
重 量 (kg)	約16.5
電 源	AC100V 50Hz/60Hz
定 格 消 費 電 力 (W)	1350
最 大 電 流 (A)	13.5